奥の細道むすび \mathcal{O} 地 「大垣」 十六万市民投句

小中学生の部



令和六年三月度 入賞句一覧

投句数 千九百二十一句

特選

説

田

祐

子

選

(町 古山 颯遙子 (小六)

不破郡垂井

卒業式みんなでみたいな花吹雪

るところがいる を業式当日の 今年も卒業 いですね。作者の心の温かさが伝わってきます。の散る様子を「花吹雪」と捉え、「みんなで見たいことなど、いろいろ考えているのですね。そして、の時期を迎えました。作者はその卒業の該当者であ いな」と言い切っていちょうど桜舞う時期のり、今までのこと、 い期

そつぎょうしき六年生へ金メダル

大垣市

なおか はづき (小一)

ኤ

いー ま金作 ます。 筮メダル」 とはいい作者は何と一年生。 い マ 表現です。 本業生に ,ね。 卒業生の にかける言葉、 の 子想 にはは わいれろ れば、きっと喜ぶついろあると思い 『ばれると思心いますが、

卒業式歩みはじめる未来へと

大垣市

川合 翔大(小六)

が始まっていることでしょう。す。考えだけではなくそう言いることなどいろいろあると思いこの句も自身が卒業生の当事 「切っているところがすばらしいです。 きっといますが、作者はすでに「歩みはじめる」として、者ですね。自分の卒業にあたっては、思うこと、 い 歩 み え

秀逸

桜の木花咲く頃に新学年	麗かな緑に色づく春の山	ランドセルみんなでおろして卒業だ	なの花が風にゆられて歌い出す	はなびらがちるなかたべたおべんとう	はるがくる中学校へのだいいっぽ
加茂郡川辺町	加茂郡川辺町	大垣市	大垣市	大垣市	大垣市
大 生	野田	高坂	折 戸	小野	坂
あみる(中二)	美樹菜(中二)	紬(小六)	惺奏 (小二)	薫乃 (小六)	昂輝 (小六)

春

の

雲もくも

て

て

の

ŋ

た

いな

大垣市

ま

け

ん

(小二)

加

茂郡

沠

辺

町

福

并

心

中三

梅

 σ

花

見

ラ

い

る

ひ

とを

お

Ъ

て

な

大垣市

岡

部

B

な

小

逈

卒業を祝う

校

(庭桜の

木

な

の

花

がヒ

ラヒラ

んおどる

風たちと

大垣市

岩田

悠

聖

小三

入 運

春の山色とりどりの景色あり 加 茂郡川 辺 町 坂崎 初花 優斗 (中二) (中二)

卒業式合唱響く体育館

春風が期待と緊張のせてくる

六年生今年一年ありがとう

成長した背を向け歩く卒業式

弁当に桜の花びらアクセント

あたたか V もうすぐ春がやってくる

たんぽぽが 風にゆられておどってる

チュー リッ プ咲いたら近づく入学式

もうすぐで一年生が来るうれしいな

さくらちる新一年生入学する

桜の木一年生をお出むかえ

大垣市

近藤

慎矢 (小五)

たんぽぽがきれいにゆれる春の 風

風に

の

り旅立つさくらとんで行く

思い 出をよみがえらせる春の風

おひなさまかわいいきものおに

あ V ゛だ

春の 朝あらたな道にあゆみだす

桜の 木入学式を待っている

帰 ŋ 道風と一緒に春におう

あと少し卒業式が待っている

運 吟

春めきて子等の声する結びの地

祐

子

加茂郡川辺町 竹川

小

中学生

の 部

辺町 佐藤 柊我 (中三)

加茂郡川

早野 葉皇 (小二)

大垣市

加茂

郡

荊

辺

町

藤井

結乃

(中三)

茂郡 ĴΪ 辺 町 村上 侑衣彩 (中二)

加

大垣市 鈴木 優里 (小五) 大垣市

吹原

凜音

(小三)

大垣市 香村 悠月 (小三)

大垣市 ニのゆ 日な(小二)

大垣市 田なべ げんどう(小二)

大垣市 つねかわ ゆき (小六)

仙田 新汰(小三)

大垣市

笹田 琉来 (小六)

大垣市

大垣市 日比野 さくら (小二)

大垣市 河合 奏佑 (小六)

子安 南圭 (小六)

大垣市

岩田 麻璃沙(小六)

大垣市

市岡 大和 (小六)

大垣市